

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

秋田県ながぐつホッケー連盟

秋田県ながぐつホッケー連盟は、第35回リーグ戦（令和2年11月～令和3年3月）の開催にあたり、遵守すべき事項を下記のとおり定めたので、ご理解ご協力をお願いします。

- 1 リーグ戦に参加する者はあらかじめ、厚生労働省・新型コロナウイルス接触確認アプリ【COCOA】をインストールすること。
- 2 リーグ戦に参加する者はもれなく、試合当日のみならず、日頃からウイルス感染予防対策を励行するため、携帯用消毒剤を常に持ち歩くこと。そのため、連盟からは、各チームに10本ずつの携帯スプレーを支給する。それ以上の本数を必要とする場合は、各チームで対応すること。
- 3 スケートリンクには、チームごとに入場することとし、第1試合から第4試合の前半4チームの入場時間は、7：30～7：40、また、第5試合から第8試合の後半4チームの入場時間は、8：40～8：50とする。検温チームは、それぞれの入場時間から検温と健康管理表の記入を担当し、チェック項目により健康状態に疑いのある場合は入場を禁止することとする。なお、後半チームはスケート場入口の検温器で測定することもできる。
- 4 ベンチをチームごとに4か所設ける（別紙「場内配置図」参照）ので、他のチームとの接触をしないこと。また、ベンチ内でも選手同士の間隔を極力あけること。
- 5 前半4試合と後半4試合の間に、約20分の入れ替え時間を設けるので、速やかな移動を心がけること。後半チームは入場後、待機場所でベンチが空くのを待ち、前半チームは試合後速やかにベンチを空けるよう、待機場所に移動してから片付け等を行うこと。
- 6 リンク内では、ゲーム中以外はマスク着用を必須とし、ゲーム中は任意とする。
- 7 前半サポートチームは、ベンチごとに防具バックを配置すること。各チームは、他のベンチの防具は使用しないこと。ヘルメットは南側本部に配置し希望者は適宜使用する。
※ゴーリーグローブは、素手ではなく、軍手等を着用すること。
- 8 前半サポートチームは、連盟が用意した消毒剤を定められた場所に配置すること（防具バッグ4、スティックバッグ2、タイマー・ラインズマン3、ヘルメット2、試合球（主審・副審）3、その他1）
- 9 後半サポートチームは、7、8で配置した用具を用具保管場所に片付けること。
- 10 今大会は、試合前・終了後の整列は行わない。前の試合が終了したら、速やかに自分のポジションに向かい、審判にゼッケンが見えやすいように待機すること。
- 11 大会前、大会期間中、大会終了後に、新型コロナウイルスへの感染やその他疑われる症状が発生した場合には、直ちに連盟事務局へ報告すること。
- 12 このほか、秋田県や各市町村、スケート場等の関係機関からの指示、要請に従うこと。